

県内観光エリア別 令和7年の主な増減要因

令和5年3月策定の第5期神奈川県観光振興計画において設定している7つのエリアに分けて分析を行いました。

(1) 横浜・川崎エリア

- ・横浜市では、臨海部への音楽施設の集積を活かしたIPコンテンツ連携による回遊促進などにより、471万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。
- ・川崎市では、「川崎マリエン」等への来訪者の減少などにより、10万人の減少となりました。
- ・これらにより、地域全体での入込観光客数は461万人増加しました。

(2) 箱根エリア

- ・小田原市では、「小田原城址公園」等への来訪者の増加などにより59万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。
- ・箱根町では、宿泊客、日帰り客ともに前年を上回ったことなどにより、81万人増加しました。
- ・これらにより、地域全体での入込観光客数は141万人増加しました。

(3) 湘南エリア

- ・鎌倉市では、「各寺社」等への来訪者の増加などにより、12万人増加しました。
- ・茅ヶ崎市では、「道の駅湘南ちがさき」等への来訪者の増加などにより、73万人増加しました。
- ・藤沢市では、「湘南海岸・江の島」等への来訪者の増加などにより、109万人増加して過去最高の入込観光客数となりました。
- ・これらにより、地域全体での入込観光客数は247万人増加しました。

(4) 丹沢大山エリア

- ・秦野市では、丹沢の登山口である「大倉」等への来訪者の増加などにより、42万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。
- ・愛川町では、「中津川マス釣り場」等への来訪者の増加などにより、2万人増加しました。
- ・これらにより、地域全体での入込観光客数は34万人増加しました。

(5) 相模湖・相模川流域エリア

- ・大和市では、「神奈川大和阿波おどり・西口風鈴まつり」等への来訪者の増加などにより、6万人増加しました。
- ・海老名市では、「えびな市民まつり」等の来訪者の増加などにより、4千人増加しました。
- ・綾瀬市では、「綾瀬市商工会青年部桜まつり」が中止になったことなどにより、6万人減少しました。
- ・座間市では、天候の影響を受けた「ひまわりまつり」等への来訪者の減少などにより、10万人減少しました。
- ・これらにより、地域全体での入込観光客数は5万人減少しました。

(6) 三浦半島エリア

- ・三浦市では、海水浴場が再開した「三浦海岸」への来訪者の増加などにより、45万人増加しました。
- ・これらにより、地域全体での入込観光客数は43万人増加しました。

(7) 足柄エリア

- ・南足柄市では、花の名所である「一ノ堰^{いちのせき}ハラネ」等への来訪者の増加などにより、4万人増加しました。
- ・中井町では、「美^み・緑^{りよく}なかいフェスティバル」等への来訪者の増加などにより、1万人増加しました。
- ・松田町では、「西平畑^{にしひらはた}公園」等への来訪者の増加などにより、23万人増加しました。
- ・これらにより、地域全体での入込観光客数は11万人増加しました。